新たな労働形態考える

東信経済倶楽部 多治見で総会、講演会

東濃信用金庫の取引先でつくる東信経済倶楽部の総会と講演会が25日、多治見市虎渓山町のとうしん学びの丘エールで開かれた。

会員ら約120人が出席。会長の市原好二理事長は「総会は54回、講演会は413回を迎えることができた。これからも末永く続けていきたい」とあいさつした。議事では6回の講演会、産業視察の開催といった本年度の事業計画を決めた。

総会後、モルガン・スタンレーMUFG証券のロバート・アランさんが「世界、日本の経済展望」と題して講演。先進国の経済成長は2020年以降、減速すると展望。その上で電気自動車などの技術革新に触れ、「技術が変わるとビジネスモデルを変えなければならない。新しい労働形態も考えなければならない。今がそういう時代」と奮起を促した。（野中準二）

本年度の事業計画を決めた東信経済倶楽部の総会＝多治見市虎渓山町、とうしん学びの丘エール

無断複製・転載を禁じます